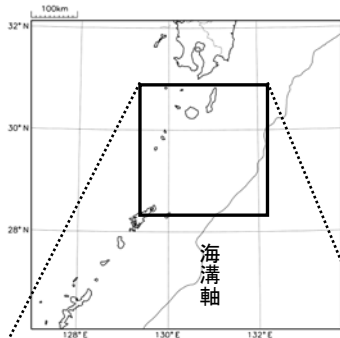
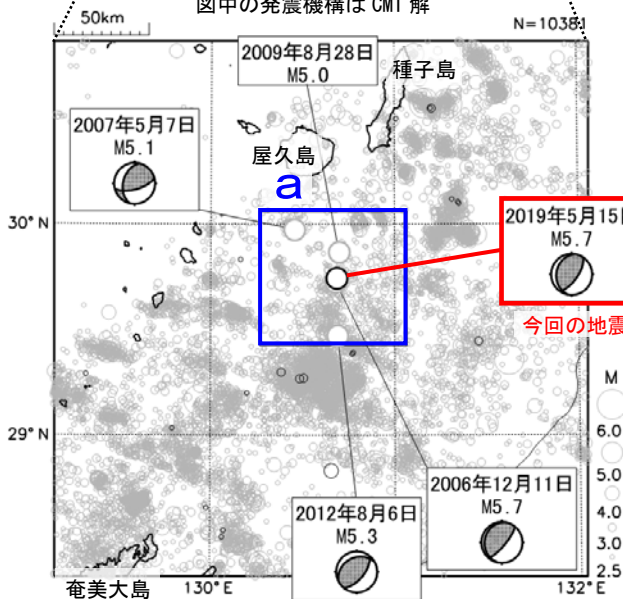


5月15日 奄美大島北東沖の地震



震央分布図
(1997年10月1日～2019年5月31日、
深さ0～90km、 $M \geq 2.5$)
2019年5月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解

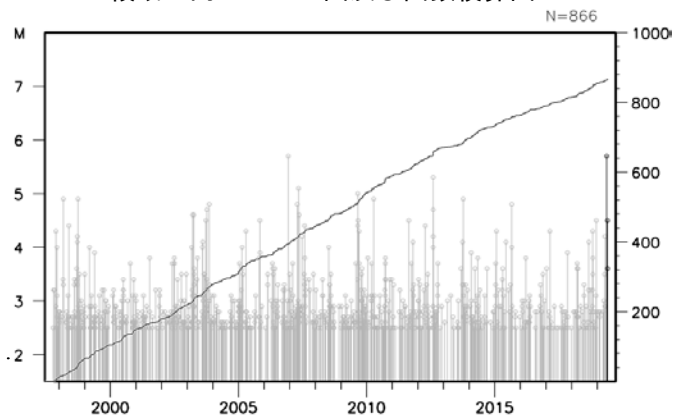


2019年5月15日14時24分に奄美大島北東沖でM5.7の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

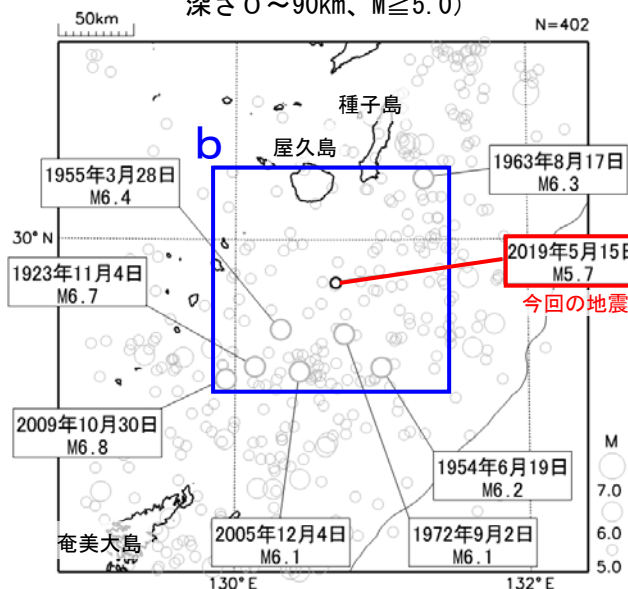
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM5.0以上の地震が時々発生している。2006年12月11日には、今回の地震とほぼ同じ場所でM5.7の地震（最大震度3）が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が7回発生している。2009年10月30日にはM6.8の地震（最大震度4）が発生し、鹿児島県の枕崎で18cmの津波を観測した。

領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1922年1月1日～2019年5月31日、
深さ0～90km、 $M \geq 5.0$)



領域b内のM-T図

